第38回ろうきん旗争奪学童軟式野球富山県大会実施要項

1. 主催 北陸労働金庫
2. 主管 (一社) 富山県軟式野球連盟・富山野球協会
3. 後援 (公財)全日本軟式野球連盟
富山県・富山県教育委員会・(公財)富山県スポーツ協会
富山市・富山市教育委員会・(公財)富山市スポーツ協会
北日本新聞社・マルエス(株)・(株)共同写真企画
4. 会期 2025年8月2日(土)、3日(日)、4日(月)
予備日 8月5日(火)
5. 会場 県営富山野球場・五福公園野球場(A・Bグラウンド)
6. 出場資格 ■今年度の(一社)富山県軟式野球連盟に登録されたチーム及び構成員(監督、コーチ、選手)とする。
■試合毎にベンチ入り可能な人員は以下のとおりとする。
①監督(30番)・・・1名(成人)
②コーチ(28番、29番)・・・2名以内(成人)
③選手(主将10番、選手0番～99番)・・・25名以内
④チーム責任者(成人)マネージャー・スコアラー各1名
⑤給水補助2名(成人)
7. 出場チーム 支部代表として、その支部長の推薦を受けたものとする。
8. 適用規則と競技規則 公認野球規則および本大会特別規則を適用する。
■全試合ともに5回戦とし、1時間以内の時間制限を適用する。
■次回の表裏の攻撃で制限時間を超えると予想される場合は、予想される回を最終回とする。
■同点の場合は「抽選制度」を適用する。
但し、決勝戦は決着するまで「タイブレイク方式(継続打順・無死1、2塁)」を繰り返す。
■「抽選」の実施方法は、(一社)富山県軟式野球連盟「富山県大会運営取決事項(2025)」によるものとする。
■熱中症予防対策として、2回終了時点、4回終了時点及び守備時間が20分を超えた時点で5分間の「給水タイム」を設けるが、この時間は試合時間には含まない。
■五福公園(A・B)グラウンドにおいては、ベンチ(白線で囲まれたボールデッドライン)内で遮光(タープ)テントの設置(概ね2.0m×3.0m程度)を認める。
9. 大会規律 大会不出場、登録違反その他規律違反に対しては、(一社)富山県軟式野球連盟規定等により処置する。
10. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球J号を使用する。

11. 参加申込み 7月15日(火)までに、インターネットで申込みください。
●申込み方法
「北陸ろうきんホームページ」より
お知らせ、ろうきんSDGs行動指針に基づく社会貢献活動

「第38回ろうきん旗争奪学童野球富山県大会の開催について」より、下記の用紙を取得し下記Eメールアドレスに送信して申込みください。

①推薦及び参加申込書、②チーム名簿、③チーム紹介(写真画像)
※添付ファイルのサイズは、5MB以下にしてください。

《送信先》Eメールアドレス：eisui@hokuriku.rokin.or.jp
北陸労働金庫 営業推進部「学童野球係」宛
12. お問い合わせ先 〒920-8552 金沢市芳斉2-15-18
北陸労働金庫 営業推進部(076)231-2166 (担当 金木)
試合運営に関するお問い合わせ先 090-9444-8443 (担当 山崎)
13. 代表者会議 組合せ抽選会 7月19日(土)午前10時(※時間厳守)
富山市民球場(アルペンスタジアム) 研修室
※抽選会場への入室は代表者を含め2名までとさせていただきます。
14. 参加料 1チーム：12,000円(代表者会議の会場で納入のこと)
併せて(一社)富山県軟式野球連盟の各支部に提出した、今年度の「チーム登録原簿(写しで可)」を当日ご持参ください。
15. 表彰 ■優勝チーム
・賞状、優勝旗(持ち回り)
・トロフィー、メダル(選手全員)

■準優勝チーム
・賞状、トロフィー、メダル(選手全員)

■第3位チーム(2チーム)
・賞状、トロフィー、メダル(選手全員)

■参加チーム
・参加賞(選手全員)
16. その他 ■けが等発生の際は応急措置は行いますが、その他につきましては一切の責任を負いません。
■大会初日は、各チームの開場時刻に試合会場において「メンバー表」の受取りと合わせて受付(参加賞の受取り等)を行ってください。
■開会式に参加する6チームは、7時30分迄に指定場所での記念撮影を完了し、7時40分迄に開会式整列場所に集合してください。

大会運営事項

1. 開会式、表彰式

- ・ 開会式は、熱中症対策等、選手の体調を考慮しチーム数を縮小し開催する。
- ・ 選手はユニホームとし、ウインドブレーカーは着用しない。
- ・ 開会式参加チームの選手は、記念撮影を済ませ「7：40まで」に県営野球場内の選手整列場所に集合する。
なお、同時に監督はチーム監督指定場所に集合する。
- ・ 整列は主将を先頭に、背の高い順に並ぶ。
※開会式および写真撮影用にチームプラカードはろうきんで準備します。
- ・ 決勝戦終了後、ただちに閉会式を行い優勝旗を授与する。

2. アップ、試合時間（注）

- ・ 試合前の道具（バット、ボール、グローブ、コーン等）を使用したアップは試合会場のみで実施するものとし、各試合の開場時刻から40分間とする。
（試合会場周辺での道具を使用したアップは認めない）
- ・ 試合はアップ終了（開場40分）後に速やかに開始し、所定の給水タイムを除き試合時間は1時間以内とする。（開場から退場まで2時間以内）
- ・ 決勝戦は、準決勝2試合終了30分後に開始予定とする。（3位表彰式後）

3. メンバー表の提出

- ・ 全試合ともに開始予定時刻20分前（開場時刻20分後）にメンバー表の交換を行い、合わせて攻守を決定する。
- ・ ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。
但し、決勝戦に限り五福Aグラウンドでの準決勝勝利チームは県営野球場での準決勝敗退チームのベンチに入る。
（県営球場での準決勝勝利チームはベンチ移動を行わない）

4. 投手の投球制限について（全日本軟式野球連盟特別規則）

骨格の未発達の子どもの肘及び肩等の酷使による関節の障害防止のための措置として定める。

- 投球制限については、健康を考慮し一人の投手が投げられる球数を「1日70球」とする。（4年生以下は60球とする）
- 一人の投手が70球に達した場合、その打者の攻撃が終了するまでは投げることができる。
- 1試合（同試合）に投手が他のポジションに行き、また投手に戻った場合、残りの球数（合計で70球）投げることができる。

■ 同日ダブルヘッダーの場合、1試合目に投げた投手は2試合目には残りの球数（合計70球）を投げることができる。

■ ユニホームには必ず背番号をつける。監督30番、コーチ28・29番、主将10番に統一する。

5. メガホンの使用は、監督又はコーチに限り1個のみ認める。

6. 捕手防護用ヘルメット、レガース、プロテクター、マスク、ファウルカップを必ず着用する。

7. 正規に認められた者以外は、ベンチに入ることはできない。

8. 抗議のできる者は当該プレーヤーと監督のみとする。

9. 投手は変化球を投げることを禁止する。投球が自然に変化した場合でも、攻撃側チームにハンディがあったと審判員が判断したときはペナルティーを課す。

10. 試合をスピーディーに行う。

- ・ 攻守交代は駆け足で行う。
- ・ 投手も交替時は早足で行動し、投球練習は速やかに完了する。
- ・ 投手は、必要以上のけん制球は投じない。
- ・ 投手は捕手の返球を受けたら、すぐにプレートを踏んでサインを見る。
捕手は投球が完了したなら、すぐに投手に返球する。
- ・ 監督、捕手とも、ムダな時間を取る複雑なサインの交換は避ける。
- ・ 次打者は速やかに次打者席に入る。
- ・ 打者はサインを見るときでも、みだりに打者席を外したりしない。
- ・ ボールボーイはヘルメットを着用すること。
- ・ 天候に関わらず、全ての試合において給水時間を設ける。
（大会実施要綱「8. 適用規則と競技規則」に記載のとおり）
- ・ 大会は「投手の12秒・20秒ルール」を適用する。
- ・ 大会は「指名打者制」を適用する。
- ・ 大会は「バッターボックスルール（野球規則5.04）」を厳格に運用する。

11. その他

- ・ ゴミは必ず持ち帰る。